



2023年5月



株式会社 椎谷板金工業 から 株式会社 シイヤライズへ

ごあいさつ

株式会社 シイヤライズ
代表取締役社長 椎谷 亮

5月1日より代表取締役社長に就任いたしました、椎谷亮と申します。前任以来、日頃よりご愛顧を賜っておりますお客様、お取引先の皆様のおかげで、弊社は無事故・無災害にて4月に第14期を納めることができ、5月より第15期を無事に迎えることができました。この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げますとともに、新たな決意をもって今期も皆様により良いサービスを提供できるよう努めてまいります。

さて、今期を迎えるにあたり「新たな決意」をもって…と申しましたが、創業以来75年、法人設立後14期にわたり「椎谷板金」として皆様からご愛顧を賜ってまいりましたところ、社名を「株式会社 シイヤライズ」に変更させていただきました。「上がる、昇る」を意味するライズ(Rise)には、あ

らゆる面で「上」を目指す気持ちを込めました。この社名変更は、ニーズが多様化する社会において、より多角的なサービスを皆様にお届けできるようにという意味を示すための第一歩です。これからも主幹事業である建築板金業のプロとしての技術を高めることはもちろんですが、建築板金の枠を超えたあらゆるシーンへの応用力と対応力を高めることで、より多くのお客様のニーズに応えてまいりたいと考えております。

また、技術やサービスの質を高めていくことと同時に、従業員一人ひとりが自身の仕事に誇りをもって従事することができる環境を整えていくことも弊社の大切な課題です。近年、建設業界での人材不足が全国的に話題となっておりますが、生産性の向上や外国人就労などの策はある

にしる、一番大切なことは今の現役世代がこの業界でカッコ良く働き、評価され、業界のイメージを向上させていくことではないでしょうか。AI技術が発展した今でも、現場で作業する職人の力はまだまだ必要とされています。我々の仕事は社会に必要とされ、社会を築くことそのものだ

というプライドをもって、業界全体のイメージ向上に努めてまいります。

シイヤライズは、お客様、社員、社会、全てにおいて幸せと豊かさを高めていくことを常に目指します。上へ、上へ、新たな目標への道を歩み出したばかりですが、社員一同邁進してまいりますので、商品提案から施工検討、設計協力、暮らしのお悩み相談など、現場施工に限らず何でもお気軽にご相談ください。皆様の「より良くしたい」という思いを実現します！引き続きのご愛顧のほどをよろしくお願いいたします。

ベトナム人実習生2名／4月 特定技能1号を取得

当社にはベトナム人技能実習生が9人在籍しています。その中で最古参のトゥオン君とフォン君がこの度めでたく「特定技能1号」の在留資格を取得しました。

そもそも「技能実習制度」とは、外国人の技能実習生が自国では修得が困難な技能を日本で働きながら学ぶというもので、期間は最長5年とされていましたが、2019年より「特定技能」での新たな外国人材の受入れが可能となりました。この在留資格「特定技能1号」が創設されたことにより、技能実習生や単純労働を目的とする外国人の受け入れが可能になりました。しかしこれは、「外国人

により不足する人材の確保が認められた特定産業分野14業種」のみに限定されており、建設分野はそのひとつです。

かくして「人材を確保することが困難な状況」にある当社は、真面目に仕事に取り組んでくれる5年間大切に育てた人材を最大5年間確保することができたのでした。そして、彼らが5年間技能習得に励めば「特定技能2号」の資格を得ることができ、在留資格が無期限(更新は必要)になる他、家族を日本に呼び寄せることも可能になるのです。

いつもニコニコと仕事に励む二人は元請企業の監督さんにも評判がよく、茶目っ気があるので現場も和みます。これからもケガや病気に気をつけて頑張ってもらいます。

新発田の新施設「ユウネスしばた」 お城型遊具の屋根工事も使用した 金属瓦はかなりの優れもの！

5月にオープンした新発田市の新施設「ユウネスしばた 児童運動センター」は、子どもが天候に左右されず、体を動かして遊ぶことができる自由来館型施設です。これからイベントなどが定期的に行われるそうですが、目玉は幼児や小学生が遊ぶお城をモチーフにした大型木造遊具です。この遊具の施工に当社も携わらせていただきました。

室内遊具ながらお城型なので屋根があり、安全性や軽量化のため焼き瓦ではなく見た目は焼き瓦そっくりの金属製。現場的には室内仕事で天候に左右されず快適に施工できた案件ですが、弊社でもめったに取り扱わない部材でしたのでちょっと掘り下げて紹介いたします。

自然な風合いと日本古来の伝統美を表現した金属瓦は軽量性・加工性に富み、風雨に強く、なんと焼瓦の重



量の1/6以下と軽いので柱や梁への過重負担を減らすのはもちろん屋根が軽いと地震での耐久性がぐっと上がる上、リフォーム時に重ね葺も可能だとか。

瓦が縦に並んだ長尺タイプなら縦方向に継ぎ目もなく、施工もスピーディーで水密性にも優れるというもの。それに、寺院に見られる丸瓦を用いた本葺瓦やなんと洋風の濃淡のあるテラコッタ風のものもありました。

金属屋根と言えば、無機質な印象のものが多い中、その特徴を生かし様々なニーズに応えたいろんな部材があるんだなあと改めて勉強させていただきました。

新発田板金工業組合 雪下ろし請負事業

16の板金事業所からなる新発田板金工業組合では、前年度に引き続き除雪作業を承りました。以前は他の建築系の組合さんも除雪業務を行っていたのですが、除雪よりも雪下ろしの依頼が多いため、「屋根は屋根の専門家に」と組合として引き受けるのは市内では板金工業組合のみになりました。

12月の半ば過ぎに新発田・聖籠エリアに新聞折り込みチラシを配布した直後に降雪が集中したため、組合にはひっきりなしに依頼の電話が…。

板金組合で受注後、各事業所に割

り振られるのですが、依頼主は圧倒的に高齢の方が多く、屋

根の雪下ろしはもちろん、車庫前や広い敷地の除雪など内容は様々。当社は従業員の頭数が多いので寺院の除雪もいくつか請け負いました。

秋に来日した、雪が初めてというベトナム人実習生たちには厳しい雪国の洗礼となりましたが、ケガや事故もなく、依頼者の方々に大変喜んでいただけて幸いでした。



4年ぶりの社員旅行を実施／4月14日(金)～15日(土) 「陽春の越中路・金沢兼六園探訪と和倉温泉満喫の旅」



◀端正なお顔立ちの
高岡大仏の前で記念写真

雨の兼六園は大勢の
外国人観光客で大渋滞!

◀富山県板金協同組合 高岡支部
製作の千羽鶴

銅板葺きのお賽銭箱の屋根を

▼観察する、仕事熱心なMさん



▲左/忍者寺(妙立寺)近くの
にし茶屋街で忍者グッズ店を発見!
忍者好きのF君は模造刀と刀の
柄付きの傘を購入
右/手裏剣投げで盛り上がる社員



◀宴会場のステージに掲げられた
大きな旧社名に感動

当社の社員旅行は一年おきに実施しているのですが、一昨年はコロナ禍の中でやむなく中止となり、今回4年ぶりの開催です。

朝8時に会社集合、総勢15名でバスに乗り込み、SAで休憩をとりつつビールやチューハイを片手にゴキゲンで富山へ向かいます。

最初の観光は高岡市の大佛寺にある青銅製阿弥陀如来坐像「高岡大仏」。高岡の銅器製造技術の粋を集め、1907年より26年の歳月をかけて完成したもので端正なお顔立ちが有名です。大仏様が鎮座する台座下は回廊になっており、自由に参拝することができます。回廊の壁には13作の仏画が飾られているほか、1841年に造られた木造大仏の頭部が安置

されていて見応え充分なのですが、ここで発見したのが地元の板金組合の職人たちが協力して作った一對の銅板の千羽鶴です! 当社でも銅板折り紙を作っていることもあり会長を中心に興味津々、観察が止まりません。

次の観光は「国宝 高岡山・瑞龍寺」。加賀藩主二代目前田公により1650年代に創建された当時の伽藍や建物がほとんど残っているという曹洞宗のお寺です。まるで京都にいるような感覚さえ覚える広大で静謐な佇まいに圧倒されました。

詰め込みすぎない旅程で今夜の宿の和倉温泉に向かう途中「和倉昭和博物館とおもちゃ館」へ。映画の絵看板や商店を模した展示、身のまわりにあったおもちゃや家電に車など、

各年代に懐かしいものが満載で時間が許せば飽きることなく過ごせそうな場所でした。

そして、「日本の宿 のと楽」さんへ。豊富な塩分を含む温泉は、殺菌・保湿・美肌効果が高く、七尾湾のパノラマも楽しめるのが特徴。温泉や料理も良かったのですが、大きな宴会場のステージに掲げられた、社名変更まであと半月と迫る『椎谷板金工業』の看板がいい記念となりました。

怪しい空模様の翌日は、風変わりな建築とその仕掛けの多さから忍者寺と呼ばれる「妙立寺」へ。

金沢に入ってまず感じたのは観光客の多さでした。日本人はもちろんですが、外国人の多いことにびっくりです。忍者寺という名前だけでも外

国人に受けるだろうことは想像できましたが広い本堂を埋め尽くす人・人・人! これなら見学に予約が必要なのも頷けます…。

寿司ランチの後は「兼六園」へ。観光客を乗せたバスや車が周辺で渋滞を引き起こし、市営の大きな駐車場にも溢れそうなくらいの人出です。それは雨が降り出した兼六園の中も同様で、傘を差しつつ足早に緑の美しい園内を散策するも外国人観光客の熱心なガイドによる渋滞はそこかしこに。さらに「ひがし茶屋街」でも溢れる外国人客にもみくちゃにされるのですが、これもいい思い出です。

コロナ禍明けの解放感と円安インバウンドを身をもって体感した感慨深い旅となりました。

昨年末の話で恐縮ですが…／12月忘年会2年ぶりに開催

社員の慰労も兼ねた宴会を2年間自粛していましたが、久しぶりに北辰館さんで忘年会を催すことができました。自粛中は会社の心づくしの折詰を頂き堪能しましたが、やはり出来立てのお料理や顔を合わせての宴会に代えることはできません。

実習生やいつもお手伝い頂いている職人さんも加わって、コロナ禍前と同じようにビンゴゲームで盛り上がりました。景品の目玉はスニーカー型高級安全靴です!

この商品選定には裏話があります。大型施設の長尺折半屋根工事の際に

現場成型した長〜い屋根材を大勢で持って設置してゆくのですが、広大な凸凹の屋根上を何度も往復する際に安全靴の底面の大事さを痛感したのだとか。底面が良いと足の疲れや腰の負担が断然違うのです。他にも魅力的な景品があるのですが、みんなの狙いは高級安全靴! しかし、安全靴を次々と射止めたのは年若いベトナム人実習生達。結局、用意した5足すべてが実習生のものに…。もちろん、彼らはピカピカのかっこいい安全靴を手にして喜んでいましたが、その良さを果たして理解しているのかはちょっと疑問…です。足腰に不安が出てきたベテラン社員達は悲しく涙をのむことになったのでした…。

立ち姿が可愛い 板金折り紙「ウサギ」が好評

当教室の板金折り紙は、年賀状に干支で作った細工物の写真を載せるために作ったのが始まりです。そんな今年の干支は「卯」、可愛くて銅板で折れるウサギを求めて半年前から制作を開始しました。折り紙のウサギは色々ありますが、月を眺めているような立ち姿のウサギを折りやすく且つウサギらしく見えるようアレンジして図面を作成しました。

11月からウサギ教室を開始し、



3ヵ月間で8回ものウサギ教室を開催しましたが、お客様にも大好評の自信作。十五夜にも飾れるので夏頃に再開催を予定しております。

広報しばたや新潟日報の情報誌ミックにて教室の参加者を募集しております。ぜひご参加ください♪

依頼が増加してます 雪止め設置や雪害対応工事

雪が少なめの下越地方とはいえ、近年のドカ雪には本当に悩まされます。屋根下のカーポートや歩行者への落下、隣接する建物の外壁や窓ガラスの破損であったり、雨樋の破損など、毎年落雪による被害が多数報告されています。いくら雪害に対応した建物保険に入っていても、毎年の降雪のたびに修繕ではたまったものではありません。そんなお困りの方の目に当社の広告が留まったのか、雪害対応の工事や雪止めの設置依頼が相次ぎました。

この雪止めには様々なものがあり



ますが、絶対に雪を屋根から落としたい方にお勧めなのが「屋根軒先落雪防止装置 ゆきもちくん」です。特許登録商品でお値段はお高めですが、絶対の信頼を寄せている部材です。瓦屋根や金属屋根、ソーラーパネルがあっても対応できる種類があり、雪のない時期には目立ちにくい形状のものもあります。

落雪が気掛かりな方は、雪が降ってくる前には是非ご相談ください!

お世話になっている地域に感謝／4月9日 下荒町地区・春の大クリーン作戦

会社近くの下荒町地区の中古住宅をベトナム人実習生の宿舎として5年になりました。

近所の人に会ったらきちんと挨拶をすることやゴミ出しルールの徹底などの指導もたくさんしましたが、地域の皆さんの理解もあり、今ではすっかり日本の生活が身に着きました。さらに地域に馴染んでもらうため、今年は社員と実習生合わせて12名で下荒町地区の「春のクリーン作



戦」に参加させていただきました。

当日はお子さんも含めたご家族や地内の大きなお菓子工場の社員さんも参加し、町内を歩きながら路肩のごみを拾って歩きました。